

～すべての市民が、生涯にわたって、スポーツ・文化芸術活動に親しむことができ、明るく、豊かで、健康な生活を営めるまちを創ります～

1 学校教育から社会教育へ

○学校部活動の意義は、スポーツや文化科学等に親しみ、学習意欲の向上や責任感、連帯感を育むものです。

○しかし、児童生徒数の減少によって運動部では単独校でチーム編成ができず、文化部の吹奏楽部では、大規模編成ができない状況にあります。活動意欲低下や不本意な入部、さらに部員不足のため「廃部」せざるをえない部活動も多くなっています。

☞ これまで学校で取り組まれてきた活動が、学校では支えきれなくなっています。地域のスポーツクラブや団体に担ってもらい、あるいは指導者としての協力を得て、学校活動からの転換を進める必要があります。

2 地域移行によって目指す姿

○学校部活動の意義は残したまま、生徒一人一人が自分の希望に合った活動ができる環境づくりを目指すものです。

☞ 部活動を学校での活動ではなく、地域での活動に転換することで、児童生徒数の減少にかかわらず、スポーツ・文化芸術の「楽しさ」や「喜び」を知り、生涯にわたってこれらの活動に豊かに関わる資質や能力を育もうとするものです。

3 地域移行へ向けた取組計画

○令和6年度から3年間を地域移行の集中取組期間とし、令和9年度当初から、休日のすべての部活動の地域移行を目指します。

☞ 各部活動の特性や受けていただける地域のスポーツクラブや団体、地域の協力が欠かせないことから、一律の取組ではなく、各部活動の現状に応じて段階的に取り組みます。※平日の部活動は、休日の部活動の移行の進捗に応じて可能な部活動から取り組みます。

○令和6年度に「益田市部活動地域移行推進協議会」を設置します。スポーツ関係団体や文化芸術団体、保護者代表、地域の皆さん、学校関係者のみなさんと協働しながら、地域移行についての取組を進めます。

- ・モデルとなる部活動を設定します。取り組みが進む事例などを紹介します。
- ・生徒当事者からの意見も聞きながら取組を進めます。
- ・保護者の皆さんへの周知を行います。
- ・部活動を担っていただく地域スポーツクラブや団体のみなさんと協議を進めます。また、指導に協力いただける方の確保を進めます。
- ・益田市・鹿足郡中学校体育連盟や吹奏楽連盟など各団体の方々とも協議を進めます。

○活動経費については、現在の地域スポーツクラブや団体等での活動同様に利用者負担が原則となります。ただし、今後、国の考え方に応じて対応を検討します。